



# 新年明けまして おめでとうございます 壬寅 元旦



通算第35号新春号  
発行  
ほんごう照代後援会  
西尾市一色町味浜北乾地58

## 東幡豆・志籠谷地区で 移動販売車 走る！

12月議会では、「運転免許証返納の促進に向けて」一般質問しました。市とのやりとりの中で強く感じたのは、やはり返納を行動に移すにはその後の生活への不安解消が最も重要だということ。車のない生活の不便を思うと、なかなか踏み切りが付きにくいのですからね。

この問題では一昨年も、「車がなくて日常生活に困らないまちづくり」を提言しましたが、最近新しく市内で動きがありました。それは...



移動販売車

右の写真は、昨年4月から東幡豆地区で始まった移動販売車の様子です。私の一般質問がきっかけで始まった新しい取り組みです。吉良幡豆地域包括支援センターさんのご尽力に感謝です。

## コロナ禍で 子どもたちの健康を守る

12月議会の一般質問では「子どもたちの健康問題」についても取り上げました。特にコロナ禍でうち時間が増えることによりスマホやパソコンに触れる時間の増加による子どもたちの健康が気になりました。

中学生で視力の低下が見られるとの回答を得ましたが、私はむしろ幼少期から目の異常の早期発見に務めるべきだと質問しました。

大切なのは、3歳児健診です。子ども50人に1人はいるとされる弱視も早期の発見・治療でほぼ完治するということ。スマホなどの影響を考えると今まで以上に3歳児健診が重

要です。

ちょうど厚労省が令和4年度から「スポットビジョンスクリーナー」という高度な機器を使って「屈折検査」を導入する自治体には補助をするという新聞記事を読んだので提案しました。

嬉しいことに早速、新年度の予算要望に盛り込んでいくという答弁をいただきました。

何かあってもまだ言葉に表せない、子どもたちの健康を社会全体で守っていきたいと思います。



スポットビジョンスクリーナー

ほんごう照代の  
ブログ更新中  
↑  
コチラから

## ひきこもり 中高年への支援

昨年6月に「ことも若者相談センター」が開設されました。でもそこでの相談は、一応40歳までが対象ということになっていきます。一方、地域包括支援センターは、対象が65歳からとなっていて、このはさまの年齢で、どこに相談に行ったらいいのだろう、と困っている人はどうすればいいのでしょうか。

この件も議会でも質問しましたが、市は専門的に対応しているとの回答でした。ワンストップで対応できる総合相談窓口が期待されます。

# 令和3年を振り返って

●昨年6月の市議会議員選挙では多くの皆さまのご支援を頂き、市議として3期目当選を果たすことができました。改めて心からお礼を申し上げます。頂いた2千票の重みをしっかりと受け止め、住民福祉向上のために邁進して参ります。←



今期は会派「新政令和」に所属し、早速コロナ禍で市の対応を求め緊急要望を提出しました。また、経済建設委員と広報委員を務めます。←



●コロナ禍でガマの生活を強いられるのは大人だけではありません。夏休みには、左の

中日新聞の記事のような催しもあり、子どもたちの意見や考えを聞くことができました。様々な行事に参加し、住民の声を聞くことがとても大切だと思っ

小中学生 地域の課題議論  
西尾「未来の大人からの提言」



●市政に関しては、PFI問題が収束せず、市長は「契約解除」に舵を切りました。一方的な解除通告が法的に有効なのか、結論は出ておらず、新たな訴訟へと発展するのではと危惧しています。



一色町の学びの館など3館は、PFI事業の一環で民間業者が管理運営しています。評判も良く、引き続きお願



●10月末には、衆議院選挙が行われ、自民党員として青山周平候補、名古屋市議会補選などの応援街頭活動にも力を注ぎ当選に至ることができました。

愛知県内で自民党系の女性議員が増えてきたのは大変喜ばしいことです。



●地域においては、地元での独居老人お招き会がコロナでできないので、会員でお弁当を作り、民生委員さんに届けて頂きました。まだ、祭りでのお汁粉作りや子どもたちとの餅つき大会は再開できず残念です。



●また、新規産業廃棄物最終処分場建設反対の運動も続いています。毎月第一水曜日朝7時から西尾駅前や一色町内各所で街頭活動をしています。



交流センターで講演会開催。住民投票で産廃施設建設阻止の御前崎市の事例発表。

## 3月議会のお知らせ

3月定例議会は、2月22日から開催されます。

一般質問初日の2月25日に登壇できるよう準備しています。

●女性消防吏員を増やすために

●子宮頸がんワクチン接種空白期間の対応について

●中学校部活動指導についてです。